



令和 8 年 1 月 28 日（水）
国土交通省中部地方整備局
三重河川国道事務所
蓮ダム管理所

くしだ が わ

櫛田川水系渇水対策支部を設置します。

～降水量が少ないため蓮^{はちす}ダムの貯水量および河川流量が減少しています～

1. 概 要

- 三軒屋観測所（^{さんげんや}松阪市飯高町蓮^{まつさかしいいたかちょうはちす}）における令和 7 年 11 月、12 月の降水量は 91mm で平年値の 46.9%と極めて少なく、また令和 8 年 1 月 27 日現在、1 月の降水量も 1mm となっています。
- 櫛田川の河川流量（^{りょうぐん}両郡観測所）は流水の正常な機能を維持するために必要な流量（正常流量）3.0m³/s を昨年^{しんねん}の 12 月 28 日から下回り、本日で 32 日連続となっています。
- 1 月 28 日 9 時時点の蓮ダムの貯水率は 44.4%、平年比は 79.1%となっています。
- このような状況から三重河川国道事務所と蓮ダム管理所では、**本日 10 時より渇水対策支部を設置**し、河川パトロール等により流況や河川環境の監視を強化します。また、関係者と情報交換を行い、渇水対応を実施していきます。

2. 配布先

三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ、松阪記者クラブ

3. 問い合わせ先

渇水全般や河川に関すること

国土交通省中部地方整備局
三重河川国道事務所

副 所 長 ^{はら}原 ^{みきひこ}幹彦

河川占用調整課長 ^{おおはし}大橋 ^{かずお}一夫

電話 059-229-2218

蓮ダムに関すること

国土交通省中部地方整備局
蓮ダム管理所

所 長 ^{かみもと}神本 ^{たかし}崇

電話 0598-45-0371

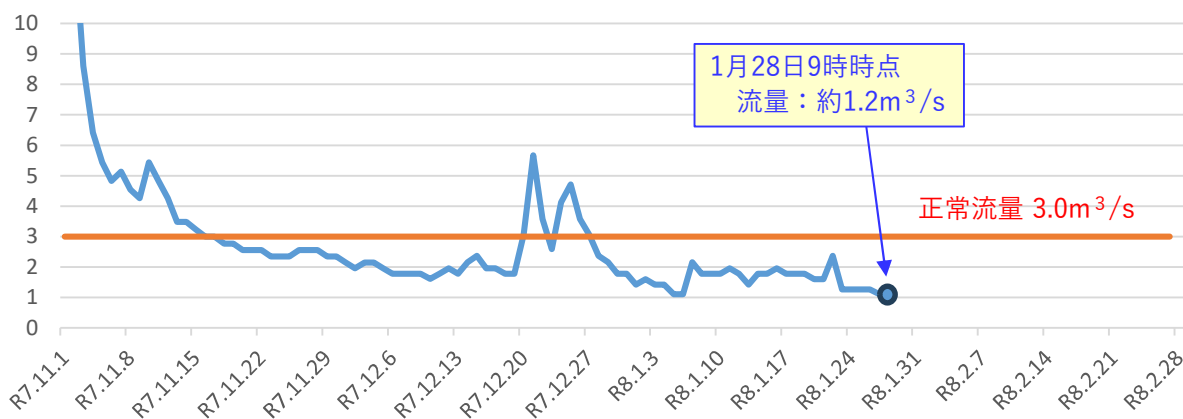
櫛田川の渇水概要（令和8年1月28日）

渇水状況

- 三軒屋観測所（松阪市飯高町蓮）における降水量は令和7年11月～12月が91mmで平年の46.9%でした。令和8年1月の降水量は1月27日時点で1mmとなっています。
- 櫛田川の河川流量（両郡観測所）は流水の正常な機能を維持するために必要な流量（正常流量） $3.0\text{m}^3/\text{s}$ を令和7年12月28日から下回り、本日で32日連続となっています。
- 1月28日9時時点の蓮ダム貯水率は44.4%、平年比79.1%となっています。
- このまま少雨が継続すると、深刻な渇水被害が生じるおそれがあることから、渇水被害の回避、軽減を図るため、渇水対応を行っていく必要があります。

両郡観測所の流量（管理者：国土交通省 読み：りょうぐん 場所：多気郡多気町相可） 速報値

流量 (m^3/s)



現況写真（櫛田川第二頭首工 場所：松阪市清水町）

平常時の流況
(両郡観測所の流量:約 $12\text{m}^3/\text{s}$)
令和6年5月1日撮影



令和8年1月28日撮影
(両郡観測所の流量:約 $1.2\text{m}^3/\text{s}$)

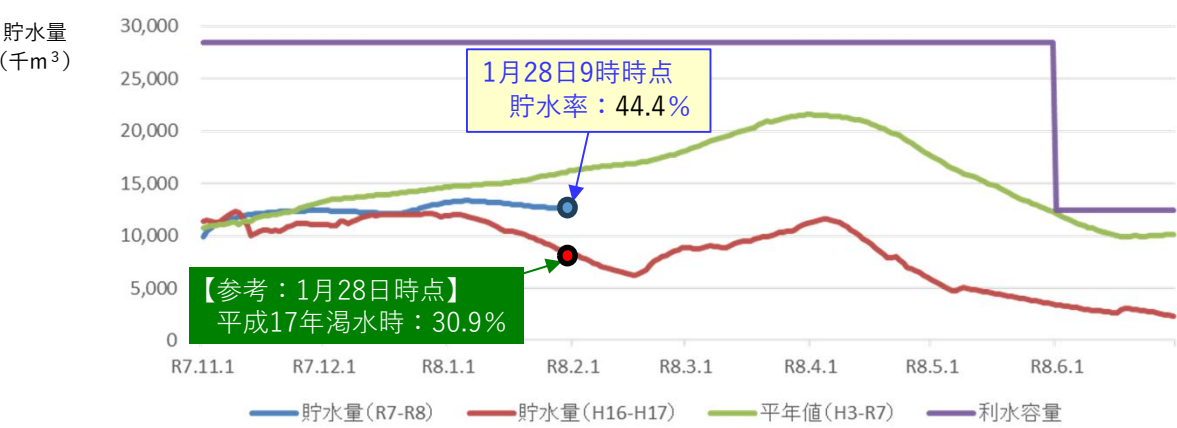


- 令和7年11月以降の少雨の結果、蓮ダムの貯水量も少ない状況に留まっています。
1月28日9時時点の蓮ダムの貯水量は約1,260万 m^3 （貯水率44.4%）であり、平年比では79.1%となっています。これは蓮ダムの本格運用が始まった平成5年以降の同時期貯水量での比較で、過去34年中25番目に低い水準となります。

蓮ダム周辺の降雨状況



蓮ダムの貯水量



これまでの対応状況

- 少雨により蓮ダムの貯水量が平年より少ないことから、以下の対応を行ってきたところです。
 - 蓮ダムからの補給により両郡観測所地点で確保する流量を、3.0 m^3/s から概ね2.0 m^3/s ※に緩和
- ※両郡観測所地点における正常流量は3.0 m^3/s （11/1～2/28）であるが、櫛田川水系における各利水者の取水の権利を確保し、かつ取水後においても、魚の生息・生育も含め、川に必要な流量を維持することが可能となる最低限の流量が2.0 m^3/s

- この対応により、不特定容量（流水の正常な機能を維持するための容量）を温存することができ、同様に渇水傾向にあった平成17年渇水に対し、高い貯水率を維持してきました。

平成17年渇水との比較（1月28日現在）※

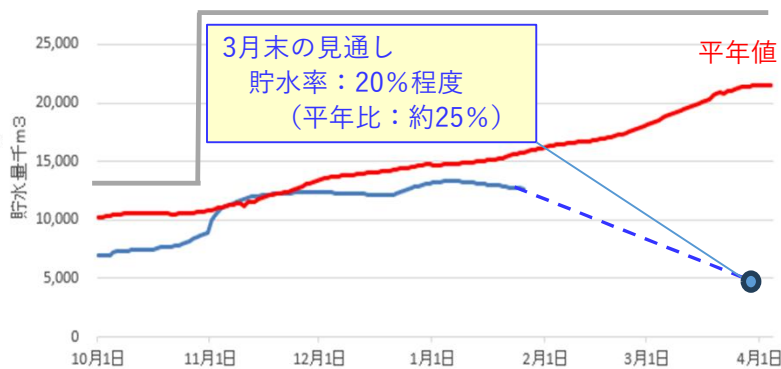
	現在の容量	貯水率
令和8年	1,260万 m^3	44.4%
平成17年	879万 m^3	30.9%

※令和8年の値1月28日9時時点のもの

今後の見通し

- 気象庁による向こう3か月の降雨の見通しでは、2月から4月の降水量は「平年並み」「少ない」の合計確率が80%と、少雨予想となっています。
- このまま少雨状況が継続すると、これまで実施してきた渇水対応を継続したとしても、3月末段階で貯水率は低下し、20%程度まで低下する見通しとなっています。
- このように蓮ダムの貯水率は、今後非常に厳しい状況になるものと想定され、更に4月以降は農作物の生育のための取水が本格化していくため、予断を持たない状況にあります。

蓮ダム貯水量の今後の見通し



当面の渇水対応

- このような状況の中、今後の渇水被害の回避、軽減を図るため、当面以下の渇水対応を実施します。

不特定容量の温存

- 蓮ダムにより両郡観測所で確保する流量および蓮ダムで流水を貯留※する条件の緩和を継続
魚の生息・生育も含め、川に必要な流量を維持することが可能な最低限の流量は確保しつつ、
各利水者の取水実態を踏まえ更なる切り下げを行うことで不特定容量の温存。

水道容量の温存

※貯留する際にも蓮ダム直下の流水の正常な機能を維持するため0.5m³/sは放流

- 渇水の進捗に応じ南勢志摩水道用水の節水（自主節水）を検討、実施。

凡 例	
主なかんがい用水の受益地	
松阪市水道（松阪市）	●
松阪工業用水道（三重県企業庁）	○
南勢志摩水道用水（三重県企業庁）	●

両郡観測所地点

現状：概ね2.0m³/sの流量を確保

今後：利水者の取水実態を踏まえ、更なる切り下げを実施



問い合わせ先

渇水全般や河川に関すること

国土交通省 中部地方整備局
三重河川国道事務所
河川占用調整課

Tel：059-229-2218

蓮ダムに関すること

国土交通省 中部地方整備局
蓮ダム管理所
管理係

Tel：0598-45-0371



川の防災情報